



キラリ話題の人

やすただ

村田 安旦 さん

- ・日本水彩画会会員
- ・佐野市楽習講師
- ・高齢者ふれあいサロン地区代表
- ・佐野市生涯学習推進協議会委員



▲講座の様子

くつになっても、新しいことに挑戦できる。そんな前向きな気持ち

を体現しているのが、現在80代の村田安旦さんです。

佐野市楽習講師として、長年水彩画を指導する傍ら、日本水彩画会会員や佐野市文化協会の役員としても日々活躍されています。

村田さんが水彩画を始めたのは、なんと50歳の時。会社員として単身赴任していた茂木町で、ふと目にした自然の美しさに心を打たれ、見よう見まねで筆を取りました。全てが独学。色彩や構図が思うようにはいかず、何度も挫折しかけたといいます。それでも描く喜びが勝り、気付けば30年以上がたっていました。

「楽習講師フェアでは、子どもたちに絵を教えたり、似顔絵を描いてあげたり。子

人生100年時代を楽しもう！

どもたちの笑顔を見ると、こちらまで元気になるんです」

市役所7階や城北地区公民館には、村田さんの作品が展示されており、毎年11月にはご自身のアトリエで個展も開催。地域の催しにも積極的に参加しています。そして今もなお、創作意欲は尽きることがありません。

「年齢は関係ない。心が動いたときが、何かを始めるチャンス」と村田さんは語ります。

さらには、「今がいちばん楽しいよ。これからまだまだ頑張ります！」とも。

村田さんの、日々好きなことを楽しむ姿は「人生は、いつからでも豊かにできる」と私たちに教えてくれているようですね。

(市民記者 関口麻里)



ようこそ
市長室からこんにちは！

先月、市長2期目として初の市議会定例会に臨みました。議会初日には、今後4年間の市政運営について施政方針演説を行い、佐野市の未来を創り上げるための「進化への新たな挑戦」が始まりました。

一般質問では16人の議員の皆さんが登壇され、子育て支援や教育、災害対策、健康福祉など、さまざまな角度からご質問がありました。いただきましたご意見やご提言について真摯に耳を傾け、市政運営の両輪として、市議会と連携を図りながら、より良い市政の実現を目指してまいります。

さて、皆さんは定期的に健康診査やがん検診を受けていますか？ 日ごろから健康に過ごすことが、豊かな暮らしと地域の元気につながります。

「今、特に体の不調がないから健診を受ける必要はない」

と思われるがちですが、病気の多くは初期には自覚症状が出にくいものです。特に生活習慣病やがんなどは、早期に発見することで、治療の選択肢が広がり、治る可能性も高くなります。健診は、未来の自分や家族を守る「予防の手段」です。

今年度も、健康診査・がん検診・歯の検診などの情報を1冊にまとめた「けんしんスタートブック」を市から皆さまにお届けしています。内容や日程を確認し、ご家族やお知り合いとも声をかけ合いながら、積極的な受診をお願いします。

今年3月には、バリアフリーに配慮した、明るく快適な新しい佐野市保健センターがリニューアルオープンし、さらに翌月には休日歯科診療所も併設されました。今後はこの拠点を有効に活用しながら、市民の皆さまの健康づくりをさらに進めてまいります。

佐野市長
金子 裕



関東で最も早い感動の一夜
夏を呼ぶ花火、佐野の空に



5月10日(土)、関東で一番早いといわれる花火大会「くずうフェスタ2025」が葛生地区で開催されました。

午前中は雨が降りましたが、午後には天候が回復し、予定どおりの実施となりました。夜空には約1万発の花火が打ち上げられ、澄んだ空に大輪の光が咲き誇りました。

会場には浴衣姿の来場者も多く見られて、春の宵に華を添えました。地域



の人々や観光客が一体となって楽しむ、心に残る温かな一夜となりました。

(市民記者 堀越奈央)



みんなで協力！
第21回佐野ウォークラリー大会

6月1日(日)、栃本公園を発着点として、第21回佐野ウォークラリー大会が開催されました。

今大会は、健康づくりや仲間づくりを目的に、年齢や性別を問わず、誰でもスポーツ・レクリエーションに親しむことができるイベントです。

「てくてくこかげコース」「のんびりおさんぽコース」の2コースに分かれ、コマ図を頼りにグループ内で協力し合い、各チェックポイントでさまざまなゲームやクイズに挑戦し、高得点を目指しました。

各参加者がコマ図を片手にチームで知恵を出し合う様子が印象的でした。



カーボンニュートラルの実現を目指して
第15回さのクールアースデー 2025

6月7日(土)、佐野駅前周辺で第15回さのクールアースデー2025が開催されました。

カーボンニュートラルの実現を目指して開催されたこのイベントでは、リサイクルを促進するための「モットイナイ回収大作戦」やフードドライブ、生ごみ処理機の展示などが行われました。駅前交流広場ではさまざまな出演者によるパフォーマンスが行われました。

また、噴水広場から駅前通りを歩く「さの“打ち水”大行進」が行われ、参加者はキャップ付きペットボトルなどで打ち水をしながら楽しく行進しました。他にも、エコミッションにチャレンジしてスタンプを集め、景品がもらえるスタンプラリーでは、参加者がクイズやワークショップの体験を通して、学びながら、そして楽しみながらチャレンジしていました。